

2026年5月28日

報道関係者各位

多摩キャンパスに低酸素システムを導入 株式会社ユーフォリアと連携して 強化指定クラブの競技力向上に寄与

本学はこのほど、多摩キャンパスのスポーツパフォーマンスセンターにダイキン工業株式会社が製造する低酸素システム「OXORA（オクソラ）」を導入しました。本システムは、高地空間と同様の低酸素状態を構築することができ、短時間で高い運動効果が見込まれることから、最大酸素摂取量の強化が必要な持久系競技において高い有効性を持っています。本学では、陸上競技部（駅伝）を中心とした強化指定クラブの競技力向上を第一の目的とし、指導者養成や学術研究等へも展開していく予定です。

また、本システムの導入会社である株式会社ユーフォリアと連携して、同システムを活用した競技力向上に資する取り組みを行うこととなりました。今後は、株式会社ユーフォリアから低酸素環境下のトレーニングメソッドの提供を受けるとともに、低酸素トレーニングで取得したデータの管理・共有を行い、科学的な視点からパフォーマンスの最適化を共に検討していきます。

◆低酸素システム「OXORA（オクソラ）」導入で期待される効果

持久系競技において、高地で行う低酸素環境トレーニングは、最大酸素摂取量の向上や生理学的適応を促す手段として、国内外のエリートスポーツ現場で広く実施されています。しかし、従来の高地遠征は、費用や期間などの調整コストが大きく、大学スポーツの現場では継続的な実施に制約がありました。低酸素システム「OXORA（オクソラ）」は、平地でも標高 1,200m~3,900m 相当の高地と同様の低酸素空間をつくり出すことが可能であることから、今回の導入によりキャンパス内に居ながら一層のトレーニング効果が見込まれます。

◆本取り組みの将来展望

本学強化指定クラブを中心にトレーニングに活用して競技力向上の実績を積み重ねると同時に、株式会社ユーフォリアとの協働により指導者育成プログラムへの活用や、低酸素トレーニングの効果に関する学術研究への発展も目指します。また、株式会社ユーフォリアのスポーツデータサイエンス（ユーフォリアのマルチエージェント AI「QUARIA AI」を含む）を活用し、データを通じた新たなスポーツ科学の可能性をあらゆる視点から追求します。



◆両者の取り組みについて

●国士舘大学：（東京都世田谷区＝学長：田原淳子）

施設運用およびデータに基づいたトレーニングの実施。陸上競技部（駅伝）を中心に球技系ならびに武道系強化指定クラブを含め、競技力向上を図ります。

●ユーフォリア：（東京都千代田区＝代表取締役：宮田 誠・橋口 寛）

低酸素システム「OXORA」の販売・導入支援に加え、酸素濃度や負荷強度の設定などトレーニングメソッドの提供とデータマネジメントを通じて現場の改善サイクルを推進します。

◆田中重陽教授（体育学部武道学科、大学院スポーツ・システム研究科）のコメント

国士舘大学では低酸素システムの導入により、強化クラブの競技力向上に加えて、体育学部および大学院スポーツ・システム研究科の教育・研究の充実を目指します。専門性の高いトレーニング理論の理解を深め、その実践と検証を段階的に学修できる体制を整備することで、将来、学校体育・生涯スポーツ・健康教育などに積極的に貢献できる人材養成を目指します。また、低酸素環境下での運動・トレーニングが身体や競技パフォーマンスに与える影響を追求し、科学的エビデンスに基づいた、競技種目やレベルに応じたトレーニング法・コーチング法の開発を目指します。



▲トレーニングする陸上競技部（駅伝）の様子



▲モニターを用いて即時フィードバックが可能

◆参考

学校法人国士舘 スポーツに関する取り組み

<https://www.kokushikan.ac.jp/houjin/efforts/sports/>

国士舘大学大学院 スポーツ・システム研究科ホームページ

<https://www.kokushikan.ac.jp/gs/department/ss/>

◆本プレスリリースに関するお問い合わせ

学校法人国士舘 理事長室広報課（担当：松田）

TEL: 03-5481-3115 FAX: 03-5481-5477 E-mail:kouhou@kokushikan.ac.jp

※取材ご希望の場合はお問い合わせください。